



# 令和2年度 行政改革・事務改善事項

## 1 市民の視点に立った協働の「まちづくり」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(3) 情報の積極的な提供と共有化の推進	情報発信（第2弾先駆的シティプロモーション）強化事業（継続）	【企画調整課】 ドローンや360度カメラ（動画4K）を使って市の風景や <b>市内で咲く花</b> など撮り蓄えた映像を編集して、新しい視点の映像表現による魅力発信を図り、本市のさらなるイメージアップに努めている。

## 2 時代の変化に対応した効果的で質の高い「行政サービス」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 事務事業の効率化・適正化	(新規) 在宅型テレワーク制度の実施	【総務課】 新型コロナウイルス感染防止を図るため、在宅によるテレワークの試行実施を行った。  実績22日間  今後は、職員の子育てや介護などと仕事との両立を支援し、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図るため、在宅型テレワーク制度の本格実施に向けた検討を行う。
	(新規) 時差出勤の実施	【総務課】 新型コロナウイルス感染防止を図るため、職場の出勤者1/3削減の取組みとして、午前6時30分から午後9時30分までの間で時差による出勤を実施した。今後は、業務内容を考慮しながら、時差による柔軟な勤務が可能か検討を行う。  延べ258人
	(新規) RPA等活用検討ワーキンググループの設置	【総務課】 行政の生産性を高めることを目指し、従来の事務や作業にRPA等の活用を検討するため、RPA等を活用することができそうな事務の洗い出しを目的とした実務担当者によるワーキンググループを庁内に設置し、 <b>事務の洗い出し</b> を行った。
	(新規) インターネット系（外部）からのデータ取込作業の見直しの検討	【税務課】 関係各課で行っている口座振替・クレジット収納等のデータをインターネット系から基幹系に取り込む作業について、収納担当課等で集中的に事務を行うことで全体の事務の効率化を図れるか検討を行う。

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 事務事業の効率化・適正化	家屋評価事務要領の作成 (継続)	【税務課】 令和3年度評価替えに向け「砺波市家屋評価事務要領」をH30～R2年度の3か年で作成する。家屋評価に対するマニュアルとなるものであり、担当が異動となった場合でも速やかに評価事務を行うことができる。
	(新規) コンビニ収納及びスマホ決済の導入	【税務課・上下水道課】 更なる利用者サービスの向上と収納率アップに向け、コンビニ収納及びスマホ決済を導入した。 (令和2年4月から実施)  納付件数 市税等 <u>12,200件</u> 上下水道料金等 <u>2,200件</u> (令和2年8月31日現在)
	(新規) ふれあいデイホームの一部廃止	【社会福祉課】 高齢者の閉じこもり予防や参加者交流を目的に「ふれあい・いきいきサロン事業」と「ふれあいデイホーム事業」を実施しているが、類似事業のため、「ふれあいデイホーム事業」から「ふれあい・いきいきサロン事業」への移行に向け調整を進めてきており、東山見地区で行っているデイホーム白百合を令和2年度から廃止した。  デイホーム数 4か所→3か所
	(新規) 市営住宅入居者等の収入申告時等におけるマイナンバー情報連携	【都市整備課】 市営住宅入居者等の収入申告時等に、マイナンバーの情報連携を活用して、所得証明書の添付を不要とすることで、入居者のサービス向上を図る。 8月議会に条例改正案を提出し、10月1日から運用開始(予定)。
	(新規) 財務システムにおける基本的な操作方法の庁内電子掲示板への掲載	【会計課】 財務システムの操作方法について、初心者向けとして、NIコラボレーション(庁内電子掲示板)に使用頻度が高い項目から順次掲載する。
	(新規) 教育委員会事務局の本庁への移転	【教育委員会・財政課】 現在庄川支所にある教育委員会事務局を、本庁(東別館)に移転させることで、児童福祉分野と学校教育分野との連携強化や、本庁と支所の往復にかかる職員の移動時間の削減を図る。 9月23日移転予定。

実施項目	取組事項	取組状況
(4) ICT(情報通信技術)の有効活用	(新規) A I ・ 5 G 等次世代 I C T の活用についての庁内研究会の設置	【総務課】 ビッグデータやA I などの先端技術を活用し、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな社会、「Society5.0」が提唱されており、2020年度に導入が予定されている「5G」は、A I の高度化や本格的な I o T 時代をもたらす技術として普及が期待されている。 こうした次世代 I C T を活用し、人口減少等に伴い深刻化が想定される様々な地域課題の解決に向け取り組む研究会を庁内に設置し、研究を進めている。

### 3 健全で持続可能な「財政運営」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 健全な財政運営の推進	(新規) 発行部数の見直し	【企画調整課】 「広報となみ」の発行部数について、送付先や内訳の精査を行ったことにより印刷製本費の削減を図る。  令和2年度 削減見込額 15千円
	補助金の適正化 (継続)	【財政課】 令和元年度に実施した補助金の適正化について、令和3年度の本格適用に向けて各課に検討を促している。
	各種補助金の見直しによる削減 (継続)	【財政課】 各種補助金については、順次見直しを行い、削減を図っている。  令和2年度 削減見込額 634千円
(2) 公共施設等のマネジメントの推進	未利用地等の有効活用 (継続)	【財政課】 未利用の市有地等について、売却処分等の有効活用を引き続き推進する。
	(新規) 庄川水記念公園再整備検討委員会の設置	【都市整備課】 庄川水記念公園は、庄川地域の観光や交流の拠点であり、より良い施設となるよう検討を進めていく。  令和2年度 ワーキングにて意見交換 2回実施 令和3年度 再整備検討委員会にて方針決定

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 公共施設等のマネジメントの推進	公立保育所・幼稚園の施設再編 (継続)	【こども課】 高波幼稚園について令和3年3月で閉園し、北部認定こども園へ統合する。 老朽化が著しい鷹栖保育所を令和4年3月で閉園し、同年4月から民間による認定こども園を開設する。 また、庄川地域の4保育所について、適正な保育環境の基準に基づき、施設統合、認定こども園化を視野に、地元や保護者との協議を行っていく。 また、般若幼稚園を含む庄東地域における施設のあり方について、適正な保育環境の基準に基づき、地元や保護者との協議を行っていく。
	児童センター・児童館のあり方 (継続)	【こども課】 出町児童センターについては、新図書館の利用状況をみながら、児童館機能のあり方について検討を進めていく。 また、庄川地区の4館については、地元自治振興会等と協議のうえ、保育所の跡地利用を含め、統合に向けて検討していく。
	(新規) 中野幼稚園及び梅檀野幼稚園閉園後の環境整備	【こども課】 令和元年度で閉園した中野幼稚園の園舎について、地域との協議の結果、解体工事を実施する。 また、令和元年度で閉園した梅檀野幼稚園の園舎について、 <b>地域で有効活用することが決定したため、施設譲渡に向け手続きを進める。</b>
(3) 自主財源の確保と創出	(継続) マイクロ水力発電による売電収入	【上下水道課】 上中野配水場マイクロ水力発電所において発電を実施し、電力会社に対して売電することで収入を確保する。  <b>売電収入額 3,568千円</b> (令和2年8月31日現在)
(4) 公営企業等の健全経営の推進	(新規) 下水道事業の公営企業会計による経営	【上下水道課】 下水道事業会計を特別会計から公営企業会計に移行し、中長期的な視点に立った計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上等に取り組む。
	病院事業の経営健全化 (継続)	【砺波総合病院】 市立砺波総合病院新改革プラン(H29～R2)に基づく病院経営の実施及び検証を行うとともに、 <b>国が示す公立病院改革ガイドラインの内容を踏まえた新たなプランを策定する。</b>